

「イ草」がもたらす効果について講演

熊本県農業研究センター

熊本県農業研究センターは10月25日、(株)比谷花壇(本社・東京都)、ホテル日航熊本(熊本市中央区、川崎博社長)と共同で、日本伝統の畳表原料のイ草について学ぶ講演会を開催、約100人が出席した。

近年のイ草を取り巻く環境や、イ草がもたらすリラクゼーション効果などについての研究成果をまとめたもの。はじめに川口卓也県農業研究センターア

グリシステム総合研究所所長があいさつ。講演会では同研究所の川

口誠仁研究参事、九州大学の清水邦義准教授、(株)比谷花壇の宮地雅美氏らがそれぞれ登壇。国内のイ草の生産量が年々減少傾向にあることや、イ草には特別なリラクゼーション効果があることなどを、研究結果をふまえて解説。

参加者は熱心に聞き、質疑応答では活発な意見交換がなされた。



▲約100人が出席したイ草について学ぶ講演会。枠内は川口卓也熊本県農業研究センター所長



▶3人が順に登壇し、イ草の現状や、研究成果を発表した